

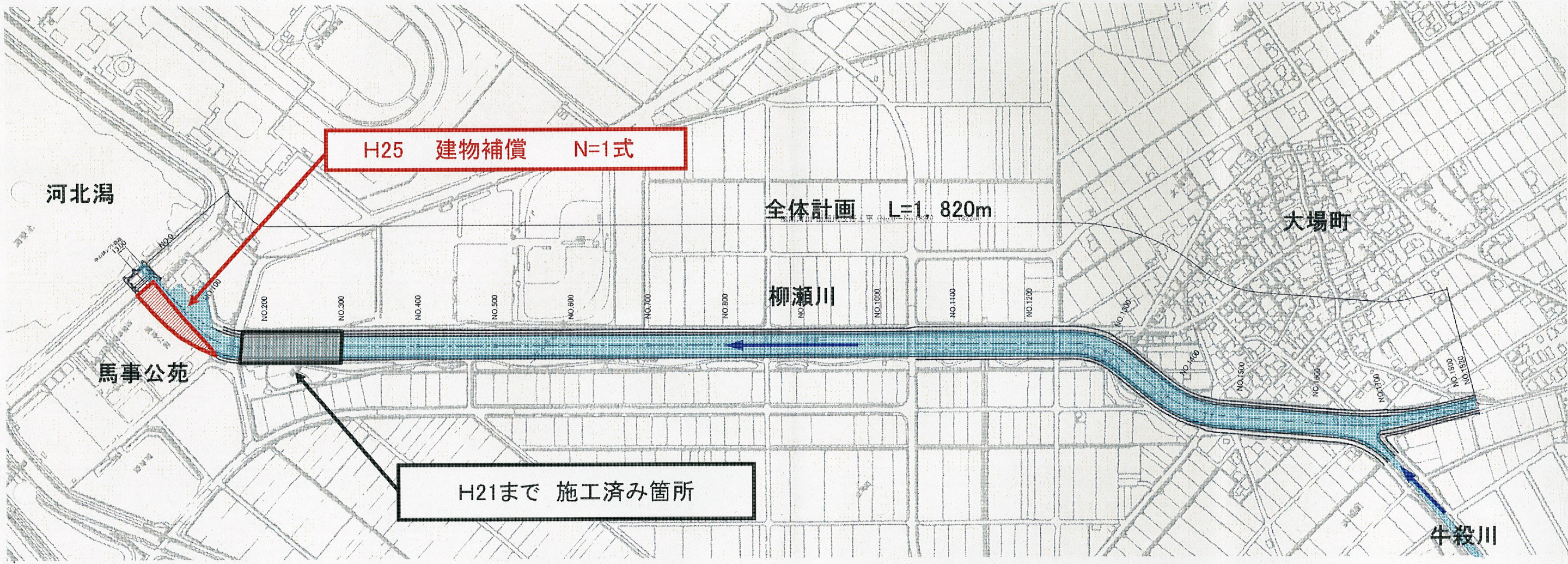
## 準用河川柳瀬川改修事業の概要

### 基本諸元

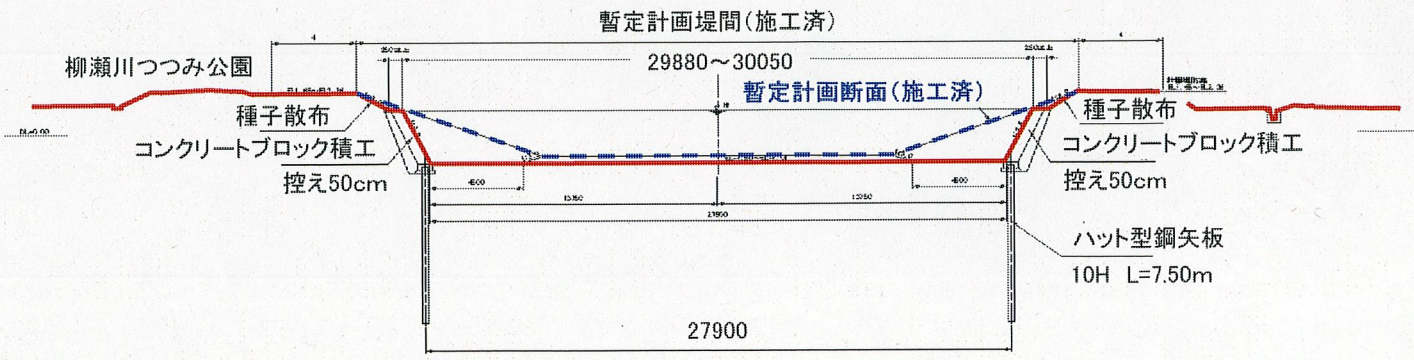
暫定改修 1 / 1.3	(28mm級降雨強度)
本格改修 1 / 7	(50mm級降雨強度)
改修前流下能力	10 m <sup>3</sup> /s
計画流下能力	暫定改修時 30 m <sup>3</sup> /s 本格改修時 54 m <sup>3</sup> /s

1. 柳瀬川は昭和58年に準用河川改修事業として認可を受け、河北潟河口部から大場町栄橋付近までの1,820m区間を、時間雨量30mmに対応できる河川として暫定改修を行ない、平成16年度に完了しております。
2. また、平成17年度からは、時間雨量50mmに対応できるように本格改修を進めており、現在に至っています。
3. 近年、全国的に局所的豪雨が多発していることから市は、総合治水の推進を重点施策の一つに据え、雨に強いまちづくりを目指しており、柳瀬川を含む市内の主要河川5河川（木曳川、弓取川、大宮川、馬渡川）の改修を促進しております。
4. 具体的な事業ですが、河口部の改修のため、平成24年度は、馬事公苑の移転補償の内容について検討を行っております。  
平成25年度に馬事公苑の用地取得・移転補償を行い、平成26年度より河口部の護岸工事に着手する予定です。当面は、河口部付近の一部未着工区間の早期完成を目指していきます。
5. 関連事業として、柳瀬川上流部の大場町、南森本町、福久町、荒屋町、弥勒町地内で、雨水幹線事業として平成14年度より整備を行って参りました柳瀬川1号雨水幹線築造工事は、平成22年度に全区間1,050mが完成いたしました。

準用河川 柳瀬川(補助)



標準断面図



Q(m <sup>3</sup> /s)	50
I	1/3,500